

平成26年11月11日

薬事・食品衛生審議会  
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成26年10月29日付け厚生労働省発食安1029第1号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくフルフェノクスロンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

# フルフェノクスロン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

## 1. 概要

(1) 品目名：フルフェノクスロン [ Flufenoxuron (ISO) ]

(2) 用途：殺虫剤

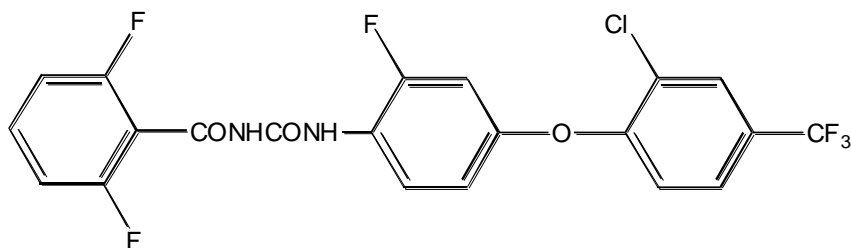
ベンゾイルフェニル尿素系の殺虫剤である。キチン質合成を阻害することによって昆虫生育（脱皮）阻害作用を示すものと考えられている。

(3) 化学名

1-[4-(2-chloro- $\alpha, \alpha, \alpha$ -trifluoro-*p*-toloxy)-2-fluorophenyl]-3-(2,6-difluorobenzoyl)urea (IUPAC)

*N*-[[[4-[2-chloro-4-(trifluoromethyl)phenoxy]-2-fluorophenyl]amino]carbonyl]-2,6-difluorobenzamide (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	C <sub>21</sub> H <sub>11</sub> ClF <sub>6</sub> N <sub>2</sub> O <sub>3</sub>
分子量	488.76
水溶解度	0.0043mg/L (25°C)
分配係数	log <sub>10</sub> Pow 4.01 (25°C)

## 2. 適用の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用方は以下のとおり。

**作物名**となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

国内での使用方法

10.0%フルフェノクスロン乳剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
りんご	ナミハダニ リンゴハダニ	2000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
	キンモンホガ ギンモンハモグリガ	2000～4000 倍					
	ハマキムシ類	2000～6000 倍					
	ヨモギエダシヤク	4000 倍					
なし	ハダニ類 ハマキムシ類	2000 倍					
かき	カキノハタムシガ	4000 倍					
	カキクダアザミウマ	2000～4000 倍					
もも	ハダニ類	2000 倍					
	ハマキムシ類	4000 倍					
	モモハモグリガ	2000～4000 倍					
小粒核果類	ケムシ類	2000 倍					
ネクタリン	ハダニ類	4000 倍					
	ハマキムシ類						
	モモハモグリガ						
おうとう	ハマキムシ類 ヒメシロモントクガ	4000 倍					
かんきつ	ミカンハモグリガ チャノキイロアザミウマ ミカンサビダニ	2000～4000 倍					
	ミカンハダニ	1000～2000 倍					
	マンゴー	チャノキイロアザミウマ	2000 倍				
食用さくら(葉)	アザミウマ類	4000 倍	収穫 7 日前まで				

10.0%フルフェノクスロン乳剤(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数			
茶	チャノコカクモンハマキ チャノホリガ チャノミドリヒメヨコバイ チャハマキ ヨモギエダシヤク チャノキイロアザミウマ チャノホコリダニ チャノカサヒダニ ツマグロアカスミカメ	4000倍	200~400 L/10a	摘採7日前まで	2回以内	散布	2回以内			
キャベツ	コナガ、アオムシ タマギンウワバ ハモンヨトウ ヨウムシ ハイマダラノメイガ	2000~4000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内		3回以内			
はくさい	コナガ、アオムシ ヨウムシ			収穫14日前まで						
だいこん	アオムシ、コナガ ハイマダラノメイガ	4000倍		1回				1回		
はつかだいこん	コナガ	2000~4000倍		3回以内				3回以内		
わさびだいこん	コナガ、アオムシ マハモグリバエ	2000倍		2回以内				2回以内		
非結球あぶらな 科葉菜類	ヨウムシ類 ハモグリバエ類	2000~4000倍		3回以内				3回以内		
なばな類	ハモンヨトウ	4000倍		2回以内				2回以内		
ブロッコリー	ハモンヨトウ オタバコガ	4000倍		3回以内				3回以内		
レタス 非結球レタス くきちしゃ	マハモグリバエ オタバコガ	2000~4000倍		100~300 L/10a				収穫前日まで	4回以内	4回以内
トマト	ミカンキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	2000倍		100~300 L/10a				収穫前日まで	4回以内	4回以内

10.0%フルフェノクスロン乳剤(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
ミニトマト	マメハモグリバエ オオハコガ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
	ミカンキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	2000 倍					
なす	ミカンキイロアザミウマ	2000～4000 倍			3 回以内		3 回以内
	マメハモグリバエ ハダニ類	2000 倍					
ピーマン	ミカンキイロアザミウマ	4000 倍			1 回		1 回
	オオハコガ	2000 倍					
ししとう				収穫 7 日前まで	2 回以内		2 回以内
甘長とうがらし	ミカンキイロアザミウマ	4000 倍					
せり科葉菜類 (みつば、パセリ、 セルリーを除く)	ハスモンヨトウ			2 回以内	3 回以内		3 回以内
パセリ		収穫 14 日前 まで					
セルリー	マメハモグリバエ コジラミ類 ハスモンヨトウ			2000 倍	3 回以内		3 回以内
みつば	ハスモンヨトウ ハダニ類 キアゲハ	4000 倍					
ねぎ	シロイモシヨトウ ネギハモグリバエ ネギアザミウマ			4000 倍	収穫 14 日前まで		3 回以内
いちご	ハスモンヨトウ ミカンキイロアザミウマ	2000～4000 倍					
きゅうり	ミカンキイロアザミウマ		2000 倍				
	ウリノメイガ トマトハモグリバエ						

10.0%フルフェノクスロン乳剤(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数	
ズッキーニ	トマトハモグリハエ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	4 回以内	散布	4 回以内	
すいか	ミナキイロアザミウマ オオタバコガ マメハモグリハエ	2000～4000 倍		収穫 7 日前まで				3 回以内
	シロイチモジヨトウ	4000 倍						
メロン	ミナキイロアザミウマ	2000～4000 倍		収穫 7 日前まで	3 回以内		3 回以内	3 回以内
	タバココナジラミ類 (シルバーリーフ コナジラミを含む) トマトハモグリハエ							
かぼちゃ	トマトハモグリハエ	2000 倍		収穫前日まで	1 回		3 回以内	3 回以内
うり類(漬物用) (しろうり、とう がんを除く)	ミナキイロアザミウマ			収穫 3 日前まで				
しろうり	ウリノメイガ ミナキイロアザミウマ			収穫前日まで				
とうがん	ミナキイロアザミウマ			収穫 3 日前まで				
にがうり	マメハモグリハエ ウリノメイガ アザミウマ類	2000～4000 倍		収穫前日まで	4 回以内		4 回以内	4 回以内
	未成熟とうもろ こし	アウロメイガ		2000～4000 倍	2 回以内		2 回以内	2 回以内
オオタバコガ		4000 倍						
てんさい	ヨウムシ	2000～4000 倍		収穫 7 日前まで	4 回以内		4 回以内	4 回以内
	シロヒメノメイガ テンサイイモグリハエ カメノコハムシ ナミダニ アシクワロハモグリハエ	4000 倍						
	ヨウムシ	1000 倍	25L/10a					
	アスパラガス	ハスモンヨトウ オオタバコガ アザミウマ類	4000 倍			100～300 L/10a		

10.0%フルフェノクスロン乳剤(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
しゅんぎく	マメハモグリバエ アザミウマ類 ハスモンヨトウ ヨウムシ	2000～4000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
ほうれんそう	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ シロヒメメイガ ホリソウケガコダマニ アザミウマ類	4000倍		収穫3日前まで	3回以内		3回以内
さやえんどう	シロイモジヨトウ	2000倍		収穫前日まで	2回以内		2回以内
そらまめ 未成熟そらまめ	マメハモグリバエ				3回以内		3回以内
さやいんげん					2回以内		2回以内
実えんどう	シロイモジヨトウ	4000倍					
未成熟ささげ	ハスモンヨトウ	3000倍					
未成熟ふじまめ		3000倍					
えだまめ	ハスモンヨトウ	4000倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
だいず	ウコンメイガ カメシ類						
あずき	ナミダニ アズキノメイガ						

10.0%フルフェノクスロン乳剤(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
みょうが (花穂)	ハスモンヨトウ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布※	3 回以内
みょうが (茎葉)				みょうが(花穂)の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合に あつては開花期終了まで			
しそ(花穂) しそ科葉菜類 (バジルを除く)	4000 倍	収穫 3 日前まで		2回以内	散布	2回以内	
バジル	ハスモンヨトウ マハモグリバエ	4000 倍		収穫 3 日前まで		2回以内	2回以内
にんじん	ヨウムシ			4000 倍	収穫前日まで	2 回以内	散布
タラゴン	ハスモンヨトウ						
つるむらさき		4000 倍		収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
ゆきのした ふだんそう モロヘイヤ							
かんしょ	ハスモンヨトウ ナガジロシタバ	4000 倍		収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
食用トレニア	ハスモンヨトウ	4000 倍		収穫 3 日前まで			
食用ミニバラ	ミカンキイロアザミ	2000 倍	収穫 3 日前まで				
きく(葉)	アザミ類 ハスモンヨトウ	4000 倍	収穫 14 日前まで				
食用ぎく	マハモグリバエ ミカンキイロアザミ	2000 倍	収穫 7 日前まで				

※但し、花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する



### 3. 作物残留試験

#### (1) 分析の概要

##### ① 分析対象の化合物

- ・フルフェノクスロン

##### ② 分析法の概要

試料からアセトン又はジクロロメタンで抽出し、フロリジルカラム、シリカゲルカラム及び C<sub>18</sub> カラム、又は多孔性ケイソウ土カラム、シリカゲルカラム及び NH<sub>2</sub> カラムで精製した後、高速液体クロマトグラフ (UV) で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、C<sub>18</sub> カラム又はトリメチルアミノプロピルシリル化シリカゲル (SAX) ・エチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル (PSA) 積層カラムで精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

定量限界 0.002~0.2 ppm

#### (2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については、別紙1を参照。

### 4. 魚介類への推定残留量

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度<sup>注1)</sup>及び生物濃縮係数 (BCF : Bioconcentration Factor) から、以下のとおり魚介類中の推定残留量を算出した。

#### (1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が非水田においてのみ使用されることから、非水田 PECtier1<sup>注2)</sup>を算出したところ、0.011ppb となった。

#### (2) 生物濃縮係数

<sup>14</sup>C-標識フルフェノクスロンを用い、60日間の取込み期間を設定したニジマスの魚類濃縮性試験が実施された (濃度 34~53ng/L)。フルフェノクスロンの分析結果から BCF<sub>ss</sub><sup>注3)</sup> = 25920 と算出された

#### (3) 推定残留量

(1) 及び (2) の結果から、水産動植物被害予測濃度 : 0.011ppb、BCF : 25920 とし、下記のとおり推定残留量が算出された。

$$\text{推定残留量} = 0.011\text{ppb} \times (25920 \times 5) \div 1.43\text{ppm}$$

注1) 農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止に係る農薬の登録保留基準設定における規定に準拠

注2) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

注3) BCF<sub>SS</sub> : 定常状態における被験物質の魚体中濃度と水中濃度の比で求められた BCF。

(参考: 平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書)

## 5. ADI の評価

食品安全基本法(平成15年法律第48号)第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたフルフェノクスロンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量 : 3.7 mg/kg 体重/day

(動物種) イヌ

(投与方法) 混餌投与

(試験の種類) 慢性毒性試験

(期間) 52 週間

安全係数 : 100

ADI : 0.037 mg/kg 体重/day

マウスの発がん性試験で肝細胞癌及び血管系腫瘍の増加が認められた。肝細胞癌については、用量相関性がなく、肝細胞癌と腺腫との合計では対照群との間に有意差が認められないこと、肝・複製 DNA 合成試験が陰性であったこと、発現頻度が背景データ範囲内であること、一方対照群の発現率が背景データの範囲を下回ったこと等により、フルフェノクスロン投与によるものではないと考えられた。血管系腺腫の増加は、マウスの背景病変の一つであり、フルフェノクスロン投与の影響ではないと考えられた。

なお、評価に供された遺伝毒性試験の *in vitro* 試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験をはじめ *in vivo* 試験では陰性の結果が得られたので、フルフェノクスロンは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

## 6. 諸外国における状況

本化合物は JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。米国、カナダ、欧州連合 (EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、乳等に、カナダにおいてりんご、なし等に、EUにおいてぶどう、いちご等に基準が設定されている。

## 7. 基準値案

### (1) 残留の規制対象

フルフェノクスロンとする。

なお、食品安全委員会における食品健康影響評価においても、農産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてフルフェノクスロン (親化合物のみ) を設定している。

### (2) 基準値案

別紙 2 のとおりである。

### (3) 暴露評価

作物残留試験成績等がある食品については推定される平均的な量まで、それ以外の食品については基準値案の上限の量までフルフェノクスロンが残留していると仮定し、食品摂取頻度・摂取量調査結果<sup>注 1)</sup>における各食品の平均摂取量に基づき試算される、1 日当たり摂取する農薬の量の ADI に対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙 3 参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	EDI/ADI (%) <sup>注 2)</sup>
国民平均	23.1
幼小児 (1~6 歳)	35.1
妊婦	19.2
高齢者 (65 歳以上)	27.5

注 1) 平成 17~19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特集計業務報告書より

注 2) 作物残留成績等がある食品については EDI 試算、それ以外の食品については TMDI 試算を行った。

TMDI 試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

EDI 試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

フルフェノクスロン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 500L/10a	1回	13, 20, 29日	圃場A:0.193(1回, 29日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.092(1回, 21日)
りんご (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 500L/10a	2回	13, 20, 29日	圃場A:0.342(2回, 29日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.231(2回, 28日)
りんご (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 400L, 600L/10a	1回	14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A:0.146 圃場B:0.143
りんご (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 400L, 600L/10a	2回	14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A:0.265 圃場B:0.228
りんご (可食部)	1	10%乳剤	2000倍散布 600L/10a	1回	14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A:0.19
りんご (可食部)	1	10%乳剤	2000倍散布 600L/10a	2回	14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A:0.20(2回, 30日)
なし (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 240L, 500L/10a	1回	14, 21, 30日	圃場A:0.076 圃場B:0.050(1回, 21日)
なし (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 240L, 500L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A:0.088 圃場B:0.144
もも (果肉)	2	10%乳剤	2000倍散布 400, 300L/10a	1回	14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
もも (果肉)	2	10%乳剤	2000倍散布 400, 300L/10a	2回	14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
温州みかん (果肉)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.025 圃場B:0.020(2回, 14日)
温州みかん (果皮)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A:4.17(2回, 14日) 圃場B:1.80
温州みかん (果実)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.629(2回, 14日) 圃場B:0.313
夏みかん (果肉)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L, 900L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.053(2回, 14日) 圃場B:0.030(2回, 7日) (#) 注2)
夏みかん (果皮)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L, 900L/10a	2回	7, 14日	圃場A:1.32(2回, 14日) 圃場B:1.1(2回, 7日) (#)
夏みかん (果実全体)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L, 900L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.40 圃場B:0.39(2回, 7日) (#)
茶 (荒茶)	2	10%乳剤	4000倍散布 400L/10a	1回	7, 14日	圃場A:6.63 圃場B:7.66
茶 (荒茶)	2	10%乳剤	4000倍散布 400L/10a	2回	7, 14日	圃場A:7.94 圃場B:7.22
茶 (浸出液)	2	10%乳剤	4000倍散布 400L/10a	1回	7, 14日	圃場A:0.05 圃場B:0.08
茶 (浸出液)	2	10%乳剤	4000倍散布 400L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.06 圃場B:0.06
キャベツ (葉球)	2	10%乳剤	2000倍散布 100-180L, 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.060
					7, 13日	圃場B:0.048
キャベツ (葉球)	2	10%乳剤	2000倍散布 100-180L, 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.053(4回, 7日) (#)
					7, 13日	圃場B:0.041(4回, 7日) (#)
はくさい (葉球)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.192 圃場B:0.101
はくさい (葉球)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.231(4回, 7日) (#) 圃場B:0.200(4回, 14日) (#)
はくさい (葉球)	4	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.144 圃場B:0.032 圃場C:0.042 圃場D:0.018
はくさい (葉球)	4	10%乳剤	2000倍散布200L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.334(4回, 7日) (#) 圃場B:0.064(4回, 7日) (#) 圃場C:0.168(4回, 14日) (#) 圃場D:0.028(4回, 7日) (#)
はくさい (葉球)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:0.075 圃場B:0.046
はくさい (葉球)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.042 圃場B:0.076
メロン (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L/10a	3回	7, 14日	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
てんさい (根部)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.069 圃場B:0.030
てんさい (葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A:3.40 圃場B:8.20
おうとう (果実)	2	10%乳剤	4000倍散布 300, 400L/10a	1回	7, 14日	圃場A:0.09(1回, 14日) 圃場B:0.48
おうとう (果実)	2	10%乳剤	4000倍散布 300, 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.11(2回, 14日) 圃場B:0.66
トマト (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 250-300L, 200L/10a	2回	1日	圃場A:0.08 圃場B:0.10
トマト (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 250-300L, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.10 圃場B:0.14(3回, 7日)
トマト (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 250-300L, 200L/10a	4回	1日	圃場A:0.11 圃場B:0.14
いちご (果実)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	1日	圃場A:0.04 圃場B:0.08
いちご (果実)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.06 圃場B:0.14
大根 (根)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A:0.01 圃場B:0.02(2回, 13日)
大根 (根)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A:0.02(3回, 21日) 圃場B:0.02(3回, 13日)
大根 (葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A:2.02 圃場B:0.32(2回, 13日)
大根 (葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A:2.46 圃場B:0.44(3回, 13日)
セロリ (茎)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	2回	14, 22日 14, 21日	圃場A:0.22(2回, 14日) (#) 圃場B:0.73(2回, 14日) (#)
セロリ (茎)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A:0.28(3回, 14日) (#) 圃場B:0.97(3回, 14日) (#)
セロリ (葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	2回	14, 22日 14, 21日	圃場A:2.00(2回, 14日) (#) 圃場B:5.58(2回, 14日) (#)
セロリ (葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A:2.55(2回, 14日) (#) 圃場B:8.12(2回, 14日) (#)
セロリ (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	2回	14, 22日 14, 21日	圃場A:0.68(2回, 14日) (#) 圃場B:2.09(2回, 14日) (#)
セロリ (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A:0.85(3回, 14日) (#) 圃場B:3.19(3回, 14日) (#)
葉ねぎ (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.88 圃場B:0.12
葉ねぎ (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	14, 21日	圃場A:1.52 圃場B:0.10
深ねぎ (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.159(4回, 14日) (#) 圃場B:1.04(4回, 14日) (#)
なす (果実)	2	10%乳剤	1000倍散布 250L, 200-250L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.18(4回, 1日) (#) 圃場B:0.68(4回, 1日) (#)
すいか (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 250L, 300L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.03(4回, 14日) 圃場B:<0.01
アスパラガス (茎)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L, 280L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.14 圃場B:0.15
しゅんぎく (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L, 160L/10a	2回	3, 7, 14日 7, 14, 21日	圃場A:5.60 圃場B:3.27
しゅんぎく (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L, 160L/10a	3回	3, 7, 14日 7, 14, 21日	圃場A:7.24(3回, 7日) (#) 圃場B:2.91(3回, 7日) (#)
チンゲンサイ (茎葉)	1	10%乳剤	1000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:2.48(2回, 7日) (#)
チンゲンサイ (茎葉)	1	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.46
ピーマン (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 250L, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.34 圃場B:0.50
こまつな (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 100L/10a	1回	3, 7日	圃場A:2.2 圃場B:0.81
こまつな (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 100L/10a	2回	3, 7日	圃場A:3.08 圃場B:0.61

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
未成熟えんどう (さや)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L, 294L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.36 圃場B:0.30
未成熟そらまめ (子実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L, 150L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:0.02
そらまめ (乾燥子実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.03 圃場B:<0.01
きゅうり (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 185-300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.14 圃場B:0.13
ほうれんそう (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L, 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:3.90 圃場B:4.53
レタス (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 250L, 285L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.16(3回, 7日) 圃場B:0.48
みずな (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 10, 14日	圃場A:3.26 圃場B:1.82
みずな (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 10, 14日	圃場A:3.17 圃場B:2.68
未成熟いんげん (さや)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L, 150L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A:0.48 圃場B:0.39
しろな (茎葉)	1	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	2回	1, 7, 14, 21日	圃場A:2.19
しろな (茎葉)	1	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.20
みつば (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:5.88 圃場B:3.80
パセリ (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 250L, 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:4.80 圃場B:3.24
だいず (乾燥子実)	2	10%乳剤	1000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.064(2回, 14日) (#) 圃場B:0.047(2回, 14日) (#)
だいず (乾燥子実)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L, 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
えだまめ (さや)	2	10%乳剤	4000倍散布 250L, 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A:1.16 圃場B:1.92
ネクタリン (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 270L, 300L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.18(2回, 28日) 圃場B:0.22
未成熟ささげ (実)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.1 圃場B:0.3
ミニトマト (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L, 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.19(2回, 7日) 圃場B:0.10(2回, 3日)
ししとう (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 307L, 350L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:1.14(3回, 3日) (#) 圃場B:0.49(3回, 1日) (#)
ブロッコリー (花蕾)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L, 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.59(2回, 7日) (#) 圃場B:0.20(2回, 7日) (#)
みょうが (花蕾)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.04 圃場B:<0.04
未成熟ふじまめ (果実)	2	10%乳剤	3000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.3(2回, 3日) 圃場B:0.3
かぼちゃ (果実)	1	10%乳剤	2000倍散布 170L/10a	3回	1, 8, 15日	圃場A:<0.2(3回, 8日)
かぼちゃ (果実)	1	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:<0.2(4回, 1日) (#)
しろうり (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A:<0.05 圃場B:<0.05
リーフレタス (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:2.34(4回, 3日) (#)
リーフレタス (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:1.22
サラダ菜 (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150-200L, 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:3.6 圃場B:1.8
すだち (果実)	1	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	6, 14, 21日	圃場A:0.68(2回, 6日)
かぼす (果実)	1	10%乳剤	1000倍散布 640L/10a	2回	7, 14, 20日	圃場A:0.38
わさびだいこん (根)	2	10%乳剤	4000倍散布 120L/10a	3回	21, 28, 45日	圃場A:0.03(3回, 21日) 圃場B:0.07(3回, 21日)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
食用さくら (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A:2.74 圃場B:3.08
しそ (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:5.54 圃場B:4.73
くきちしゃ (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.22 圃場B:0.26
バジル (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.50 圃場B:3.10
食用トレニア (花)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.45 圃場B:1.70
はっか (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.60 圃場B:3.21
ゆきのした (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 100L, 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:4.08 圃場B:3.50
チャービル (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:4.37 圃場B:5.50
つるむらさき (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:1.64 圃場B:2.66
とうがん (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 255L, 267L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.09(3回, 7日) 圃場B:0.12(3回, 7日)
食用ぎく (花)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.9 圃場B:1.0
甘長とうがらし (果実)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.4 圃場B:<0.2
はつかだいこん (根)	4	10%乳剤	4000倍散布 100L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.02
はつかだいこん (葉)	4	10%乳剤	4000倍散布 100L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:3.1 圃場B:2.3
食用ミニバラ (花)	2	10%乳剤	2000倍散布 250L, 240L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.9 圃場B:1.1
しそ(花穂) (花)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:3.0(3回, 3日)(#)
しそ(花穂) (花)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:3.8
ふだんそう (葉)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:3.4(3回, 7日)(#)
ふだんそう (葉)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:3.6
タラゴン (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:4.0 圃場B:4.1
ディル (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:1.2 圃場B:0.8
てんさい (根)	2	10%乳剤	1000倍散布 25L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:<0.05 圃場B:<0.05
わさびだいこん (根)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.05 圃場B:0.03
かんしょ (塊根)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L, 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
にんじん (根)	3	10%乳剤	4000倍散布 200L, 250L, 200L/10a	2回	3, 7, 14日 1, 3, 7, 14日	圃場A:0.04(2回, 14日) 圃場B:0.02 圃場C:<0.01
あずき (乾燥子実)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
すもも (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 400L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.03 圃場B:0.03(2回, 28日)
未成熟とうもろこし (子実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
モロヘイヤ (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	1, 3, 7日 1, 3, 6日	圃場A:2.5 圃場B:2.8
きく (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:<0.1 圃場B:0.4
うめ (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 400L, 350L/10a	2回	14, 21, 45(46)	圃場A:0.57 圃場B:1.72

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
かき (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 500L/10a	2回	14, 21, 28, 42	圃場A:0.27(2回, 21日) 圃場B:0.12(2回, 28日)
マンゴー (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 450L/10a	2回	3, 7, 15(14), (21)	圃場A:0.44(2回, 7日) 圃場B:0.24(2回, 3日)

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示す。  
注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。



食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
とうもろこし	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
大豆	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
小豆類	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
そら豆	0.2	0.2	○			0.03(\$),<0.01
かんしょ	0.02	0.02	○			<0.005,<0.005
てんさい	0.5	0.5	○			
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.1	0.1	○			0.02,0.02(はつかだいこん(根))
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	10	10	○			3.1(\$),2.3(はつかだいこん(葉))
西洋わさび	0.2	0.2	○			0.05,0.03(わさびだいこん)
はくさい	0.5	0.5	○			0.415(\$),0.019
キャベツ	0.5	0.5	○			
芽キャベツ	0.5	0.5	○			
ケール	10	10	○			(こまつな、きょうな及びチャービル 参照)
こまつな	10	10	○			3.08(\$),0.81
きょうな	10	10	○			3.26(\$),2.68(みずな)
チンゲンサイ	5	5	○			2.48(#,\$),0.46
ブロッコリー	5	5	○			1.59(\$),0.20
その他のあぶらな科野菜	5	5	○			2.19,1.20(しろな)
しゅんぎく	10	10	○			5.60,3.27
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	10	10	○			3.6(\$),1.8(サラダ菜)
その他のさく科野菜	2	2	○			0.9,1.0(食用ぎく)
ねぎ(リーキを含む。)	10	10	○			
アスパラガス	0.5	0.5	○			0.14,0.15
わけぎ	10	10	○			
にんじん	0.2	0.2	○			0.04,0.02
パセリ	10	10	○			4.80,3.24
セロリ	10	10	○			0.85(#),3.19(#,\$)
みつば	10	10	○			5.88,3.80
その他のせり科野菜	10	10	○			(パセリ、セロリ及びみつば参 照)
トマト	0.5	0.5	○			0.11,0.14(トマト)
ピーマン	1	1	○			0.34,0.50
なす	2	2	○			0.18(\$,#),0.68(#)
その他のなす科野菜	3	3	○			1.14(#,\$),0.49(#)(ししとう)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.5	2	○			0.13、0.14
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.2	○申			(きゅうり参照)
しろうり	0.3	0.3	○			<0.05,<0.05
すいか	0.2	0.2	○			0.03(\$),<0.01
メロン類果実	0.02	0.02	○			<0.005,<0.005
その他のうり科野菜	0.5	0.5	○			0.09,0.12(とうがん)
ほうれんそう	10	10	○			3.90,4.53
未成熟えんどう	1	1	○			0.36,0.30
未成熟いんげん	1	1	○			0.48,0.39
えだまめ	5	5	○			1.09,1.54(\$)
その他のきのこ類	0.1	0.1	○			
その他の野菜	10	10	○			4.08,3.50(ゆきのした)
みかん	0.3	0.3	○			
なつみかんの果実全体	1	2	○			0.40,0.39
レモン	2	2	○			(すだち、かぼす参照)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2	2	○			(すだち、かぼす参照)
グレープフルーツ	2	2	○			(すだち、かぼす参照)
ライム	2	2	○			(すだち、かぼす参照)
その他のかんきつ類果実	2	2	○			0.60(\$)(すだち),0.38(かぼす)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
りんご	1	1	○			0.342(\$),0.231
日本なし	0.5	0.5	○			0.088,0.144
西洋なし	0.5	0.5	○			(日本なし参照)
もも	0.1	0.1	○			<0.01,<0.01
ネクタリン	0.7	0.7	○			0.18,0.22
あんず(アプリコットを含む。)	5		申			(うめ参照)
すもも(プルーンを含む。)	0.2	0.2	○			0.03(#),0.03(#)
うめ	5		申			0.57,1.72(\$)
おうとう(チェリーを含む。)	2	2	○			0.11,0.66(\$)
いちご	0.5	0.5	○			0.06,0.14
ぶどう	2	2				
かき	0.7		申			0.27(\$),0.12
マンゴー	1		申			0.44,0.24
綿実	0.03	0.03				
茶	15	15	○			7.94,7.22
その他のスパイス	10	10	○			4.17(\$),1.80(みかんの果皮)
その他のハーブ	10	10	○			4.37,5.50(チャービル)
魚介類	2	2	○			推:1.43

本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

フルフェノクスロン推定摂取量 (単位:  $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$ )

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民平均 TMDI	国民平均 EDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
とうもろこし	0.05	0.01	0.2	0.0	0.3	0.1	0.3	0.1	0.2	0.0
大豆	0.05	0.01	2.0	0.4	1.0	0.2	1.6	0.3	2.3	0.5
小豆類	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
そら豆	0.2	0.02	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
かんしょ	0.02	0.005	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1	0.2	0.0
てんさい	0.5	0.5	16.3	16.3	13.9	13.9	20.6	20.6	16.6	16.6
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の根	0.1	0.02	3.3	0.7	1.1	0.2	2.1	0.4	4.6	0.9
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の葉	10	2.7	17.0	4.6	6.0	1.6	31.0	8.4	28.0	7.6
西洋わさび	0.2	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.5	0.217	8.9	3.8	2.6	1.1	8.3	3.6	10.8	4.7
キャベツ	0.5	0.5	12.1	12.1	5.8	5.8	9.5	9.5	11.9	11.9
芽キャベツ	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
ケール	10	3.283	2.0	0.7	1.0	0.3	1.0	0.3	2.0	0.7
こまつな	10	1.945	50.0	9.7	18.0	3.5	64.0	12.4	64.0	12.4
きょうな	10	2.97	22.0	6.5	4.0	1.2	14.0	4.2	27.0	8.0
チンゲンサイ	5	1.47	9.0	2.6	3.5	1.0	9.0	2.6	9.5	2.8
ブロッコリー	5	0.895	26.0	4.7	16.5	3.0	27.5	4.9	28.5	5.1
その他のあぶらな科野菜	5	1.695	17.0	5.8	3.0	1.0	4.0	1.4	24.0	8.1
しゅんぎく	10	4.435	15.0	6.7	3.0	1.3	26.0	11.5	25.0	11.1
レタス (サラダ菜及びちししゃを含む。)	10	2.7	96.0	25.9	44.0	11.9	114.0	30.8	92.0	24.8
その他のきく科野菜	2	0.95	3.0	1.4	0.2	0.1	1.2	0.6	5.2	2.5
ねぎ (リーキを含む。)	10	10	94.0	94.0	37.0	37.0	68.0	68.0	107.0	107.0
アスパラガス	0.5	0.145	0.9	0.2	0.4	0.1	0.5	0.1	1.3	0.4
わけぎ	10	10	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0
にんじん	0.2	0.03	3.8	0.6	2.8	0.4	4.5	0.7	3.7	0.6
パセリ	10	4.02	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4	2.0	0.8
セロリ	10	2.02	12.0	2.4	6.0	1.2	3.0	0.6	12.0	2.4
みつば	10	4.84	4.0	1.9	1.0	0.5	1.0	0.5	5.0	2.4
その他のせり科野菜	10	3.627	2.0	0.7	1.0	0.4	3.0	1.1	3.0	1.1
トマト	0.5	0.125	16.1	4.0	9.5	2.4	16.0	4.0	18.3	4.6
ピーマン	1	0.42	4.8	2.0	2.2	0.9	7.6	3.2	4.9	2.1
なす	2	0.43	24.0	5.2	4.2	0.9	20.0	4.3	34.2	7.4
その他のなす科野菜	3	0.815	3.3	0.9	0.3	0.1	3.6	1.0	3.6	1.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.5	0.135	10.4	2.8	4.8	1.3	7.1	1.9	12.8	3.5
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.5	0.135	4.7	1.3	1.9	0.5	4.0	1.1	6.5	1.8
しろうり	0.3	0.05	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
すいか	0.2	0.02	1.5	0.2	1.1	0.1	2.9	0.3	2.3	0.2
メロン類果実	0.02	0.005	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のうり科野菜	0.5	0.105	1.4	0.3	0.6	0.1	0.3	0.1	1.7	0.4
ほうれんそう	10	4.215	128.0	54.0	59.0	24.9	142.0	59.9	174.0	73.3
未成熟えんどう	1	0.33	1.6	0.5	0.5	0.2	0.2	0.1	2.4	0.8
未成熟いんげん	1	0.435	2.4	1.0	1.1	0.5	0.1	0.0	3.2	1.4
えだまめ	5	1.315	8.5	2.2	5.0	1.3	3.0	0.8	13.5	3.6
その他のきのこ類	0.1	0.1	1.0	1.0	0.5	0.5	1.1	1.1	1.1	1.1
その他の野菜	10	3.79	134.0	50.8	63.0	23.9	101.0	38.3	141.0	53.4
みかん	0.3	0.3	5.3	5.3	4.9	4.9	0.2	0.2	7.9	7.9
なつみかんの果実全体	1	0.395	1.3	0.5	0.7	0.3	4.8	1.9	2.1	0.8
レモン	2	0.49	1.0	0.2	0.2	0.0	0.4	0.1	1.2	0.3
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	2	0.49	14.0	3.4	29.2	7.2	25.0	6.1	8.4	2.1
グレープフルーツ	2	0.49	8.4	2.1	4.6	1.1	17.8	4.4	7.0	1.7
ライム	2	0.49	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
その他のかんきつ類果実	2	0.49	11.8	2.9	5.4	1.3	5.0	1.2	19.0	4.7
りんご	1	0.287	24.2	6.9	30.9	8.9	18.8	5.4	32.4	9.3
日本なし	0.5	0.116	3.2	0.7	1.7	0.4	4.6	1.1	3.9	0.9
西洋なし	0.5	0.116	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
もも	0.1	0.01	0.3	0.0	0.4	0.0	0.5	0.1	0.4	0.0
ネクタリン	0.7	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.7	0.0	0.1	0.0
あんず (アプリコットを含む。)	5	1.145	1.0	0.2	0.5	0.1	0.5	0.1	2.0	0.5
すもも (プルーンを含む。)	0.2	0.03	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
うめ	5	1.145	7.0	1.6	1.5	0.3	3.0	0.7	9.0	2.1
おうとう (チェリーを含む。)	2	0.385	0.8	0.2	1.4	0.3	0.2	0.0	0.6	0.1
いちご	0.5	0.1	2.7	0.5	3.9	0.8	2.6	0.5	3.0	0.6
ぶどう	2	2	17.4	17.4	16.4	16.4	40.4	40.4	18.0	18.0
かき	0.7	0.195	6.9	1.9	1.2	0.3	2.7	0.8	12.7	3.5
マンゴー	1	0.34	0.3	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1
綿実	0.03	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	15	7.58	99.0	50.0	15.0	7.6	55.5	28.0	141.0	71.3
その他のスパイス	10	2.985	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3	2.0	0.6
その他のハーブ	10	4.935	9.0	4.4	3.0	1.5	1.0	0.5	14.0	6.9
魚介類	2	0.443	186.2	41.2	79.2	17.5	106.4	23.6	229.6	50.9
計			1163.2	470.8	529.9	214.3	1016.3	415.4	1423.3	571.3
ADI比 (%)			57.1	23.1	86.8	35.1	47.0	19.2	68.6	27.5

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値(案)の数値を用いた。

「魚介類」については、摂取する魚介類を内水面(湖や河川)魚介類、海産魚介類及び遠洋魚介類に分け、それぞれ海産魚介類での推定残留量を内水面魚介類の1/5、遠洋魚介類での推定残留量を0として算出した係数(0.31)を推定残留量に乗じた値を用いてEDI試算した。

(参考)

これまでの経緯

- |                      |   |
|----------------------|---|
| 平成 5 年 1 1 月 8 日     | 初回農薬登録  |
| 平成 1 6 年 7 月 2 0 日   | 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大:大豆、えだまめ等)                  |
| 平成 1 6 年 8 月 3 日     | 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請                      |
| 平成 1 8 年 3 月 1 7 日   | 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大:ミニトマト、ブロッコリー等)             |
| 平成 1 8 年 7 月 1 8 日   | 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請                    |
| 平成 1 9 年 4 月 1 9 日   | 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知                               |
| 平成 1 9 年 1 0 月 2 6 日 | 残留農薬基準告示  |
| 平成 2 2 年 6 月 9 日     | 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大:あずき、かんしょ等)並びに魚介類に係る基準値設定依頼 |
| 平成 2 2 年 6 月 1 8 日   | 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請                      |
| 平成 2 3 年 6 月 2 3 日   | 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知                               |
| 平成 2 4 年 8 月 2 0 日   | 残留農薬基準告示  |
| 平成 2 5 年 1 1 月 1 8 日 | 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大:あんず、うめ、かき、マンゴー、ズッキーニ)      |
| 平成 2 6 年 1 月 3 0 日   | 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請                      |
| 平成 2 6 年 4 月 2 2 日   | 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知                               |
| 平成 2 6 年 1 0 月 2 9 日 | 薬事・食品衛生審議会へ諮問   |
| 平成 2 6 年 1 0 月 3 0 日 | 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会                                      |

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- |     |    |                             |
|-----|----|-----------------------------|
| 石井  | 里枝 | 埼玉県衛生研究所水・食品担当部長            |
| 延東  | 真  | 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授        |
| ○大野 | 泰雄 | 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団理事長     |
| 尾崎  | 博  | 東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授   |
| 斉藤  | 貢一 | 星薬科大学薬品分析化学教室教授             |
| 佐藤  | 清  | 一般財団法人残留農薬研究所技術顧問           |
| 高橋  | 美幸 | 農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員 |
| 永山  | 敏廣 | 明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター薬学教育部門教授 |
| 根本  | 了  | 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長         |
| 宮井  | 俊一 | 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問          |
| 山内  | 明子 | 日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長      |
| 由田  | 克士 | 大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授     |
| 吉成  | 浩一 | 静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授        |
| 鱒淵  | 英機 | 大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学教授       |

(○：部会長)

答申(案)

フルフェノクスロン

食品名	残留基準値	
	ppm	
とうもろこし	0.05	
大豆	0.05	
小豆類 <sup>注1)</sup>	0.05	注1)いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。
そら豆	0.2	
かんしょ	0.02	
てんさい	0.5	
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.1	
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	10	
西洋わさび	0.2	
はくさい	0.5	
キャベツ	0.5	
芽キャベツ	0.5	
ケール	10	
こまつな	10	
きょうな	10	注2)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。
チンゲンサイ	5	
ブロッコリー	5	
その他のあぶらな科野菜 <sup>注2)</sup>	5	
しゅんぎく	10	注3)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	10	
その他のきく科野菜 <sup>注3)</sup>	2	
ねぎ(リーキを含む。)	10	注4)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
アスパラガス	0.5	
わけぎ	10	
にんじん	0.2	注5)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
パセリ	10	
セロリ	10	
みつば	10	
その他のせり科野菜 <sup>注4)</sup>	10	
トマト	0.5	注6)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
ピーマン	1	
なす	2	
その他のなす科野菜 <sup>注5)</sup>	3	
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.5	注7)「その他のきのこ類」とは、きのこ類のうち、マッシュルーム及びしいたけ以外のものをいう。
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	
しろうり	0.3	
すいか	0.2	
メロン類果実	0.02	
その他のうり科野菜 <sup>注6)</sup>	0.5	
ほうれんそう	10	注8)「その他の野菜」とは、野菜のうち、マッシュルーム及びしいたけ以外のものをいう。
未成熟えんどう	1	
未成熟いんげん	1	
えだまめ	5	
その他のきのこ類 <sup>注7)</sup>	0.1	
その他の野菜 <sup>注8)</sup>	10	

食品名	残留基準値	
	ppm	
みかん なつみかんの果実全体 レモン オレンジ(ネーブルオレンジを含む。) グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実 <sup>注9)</sup>	0.3	注8)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、 1 てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野 2 菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科 2 野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、 2 未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きの 2 こ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。 2
りんご 日本なし 西洋なし	1 0.5 0.5	
もも ネクタリン あんず(アプレコットを含む。) すもも(プルーンを含む。) うめ おうとう(チェリーを含む。)	0.1 0.7 5 0.2 5 2	
いちご	0.5	
ぶどう かき	2 0.7	
マンゴー	1	
綿実	0.03	
茶	15	
その他のスパイス <sup>注10)</sup> その他のハーブ <sup>注11)</sup>	10 10	
魚介類	2	

注10)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、  
西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、  
パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果  
皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをい  
う。

注11)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレ  
ソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及  
びセロリの葉以外のものをいう。